

メールマガジン (2010年11月号 Vol.5)

(発行所) (株)エルエルアイ出版

〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-27-4 靴下会館7階

TEL 03-3868-0738 FAX 03-5809-3650

<http://www.lli-publishin.com/>



樹脂製内窓が前年比の5倍に ダストバリア機能で差別化

トステム株式会社(本社…東京都江東区 大竹俊夫社長)によると、エコポイント制度で樹脂製内窓「インプラス」の売上が飛躍的に伸びた。昨年は約33億円だったが、今年は年内に約100億円達成の見込み。

特に前年同期比(4~9月)で見ると約5倍の売上高に成長している。販売の中心は住宅着工数の多い関東が中心。断熱性のほかに遮音のニーズも高いことから伸び続けているという。

10月からは業界初のホコリを寄せ付けずお手入れが簡単な『ダストバリア』機能を開発。静電気の帯電を防ぐ新素材の樹脂をサッシ(枠)部分に使用してホコリを付着しづらくさせた機能である。もともと塩化ビニールはポリエチレンやセロファンと同等、マイナスイオンやセラミック、プラスに帯電しやすいレーヨン、ナイロン、羊毛を引き付ける性質を持つ。そこで冷蔵庫の内壁に使われている技術を活用して無機系の素材を樹脂に練りこんだ。これに

よって帯電を防ぎホコリがつきやすく掃除が面倒という悩みを解消する。販売の75%は単板ガラス。複層ガラスは25%ほど。完成品とニッケルダウンの比率は半々となっており、既存のサッシルートのほか、トステムビバ、トステムオンライン、家電量販店などでも販売している。

また11月から全国放映で「病院・防音」、「居酒屋・断熱」、「病院・断熱」の3篇のテレビCMも行う。出演は堤真一氏。

【詳細は新住宅ジャーナル12月号】

LCCM住宅の躯体公開

(財)建築環境・省エネルギー機構(IBECE)主催のLCCM住宅のデモンストレーション住宅が10月末に、150名余りの建築関係者や報道陣に公開された。(下写真)

LCCMとはライフサイクルカーボンマイナスの略。一般の省エネ住宅は主に運用時のエネルギーで換算するが、LCCM住宅では建築材料

の製造時、建設時、廃棄時の省CO₂に取組み、さらに太陽光の創エネでCO₂収支をマイナスにする住宅である。

南面は真空ガラス1枚が全面に張られており、複層ガラスよりも材料を減らしている。縁側の内側に筋交いを入れて、縁側と窓は構造に含まずスクリーン扱いとしている。

